

泉佐野を建て直す最後のチャンス!!

泉佐野市議会議員

千代松 大耕

ち よ まつ ひろ やす



長引く財政難の泉佐野を必ず建て直し、どのまちにも負けない“いちばんのまち”にして、10万人市民全てが笑顔で暮らしていただける新しい泉佐野を築き上げていくことが私の目標です。これからも全力で頑張っ



千代松 大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選
- 2010.5 泉佐野市議会議員4期目当選 (議会)
- 2004.5 泉佐野市議会 第61代副議長
- 2006.5 泉佐野市監査委員 (議会選出)
- 2008.5 泉佐野市議会 第65代議長
- その他、厚生文教委員長、予算特別委員長、決算特別委員長、市町村合併検討委員長、行財政委員長などを歴任

今まで誰もしてこれなかった 公務員改革に着手

公務員人件費20%カット 頑張る職員には+能力給

市長給料40%カット / 特別職給料30%カット

市長・特別職の退職金を全廃

千代松 大耕はローカルマニフェストを命がけで達成することを誓います

財源が無いからマニフェストを見直す。それってちょっと待ってよ！抵抗勢力にあってマニフェストを変更しないといけない。それでも政治家！政治家って市民の代表でしょ！市民がマニフェストを信じて貴方を支持したんじゃないの！みんなマニフェストを信用しなくなってます。これは政治家の責任以外何物でもありません。千代松大耕はローカルマニフェストを命がけで達成することを誓います。なぜなら、泉佐野が大好きだから… 泉佐野をいちばんのまちにしたいから… 政治家はその手段に過ぎません！でも政治家じゃないと出来ないことがたくさんあります。千代松大耕は熱い想いで泉佐野を建て直します。

※ローカルマニフェストとは、地方自治体の首長選挙における事後検証が可能な公約のことです。国政選挙では政党ごとにマニフェストを作成しますが、ローカルマニフェストでは、都道府県、市町村、政令指定都市などの地方自治体の首長候補者が独自に作成します。ローカルマニフェストと従来の選挙公約との大きな違いは、候補者が考えた当該地域の目指す姿を掲げ、その実現のために「政策目標」、「財源」、「達成期限」について数値目標を含めて具体的に説明していることです。身近なテーマを取り上げているため、住民が関心を持ちやすく、就任後の実績評価がしやすいとされています。



金 美齡と語る。 まちづくりは、ひとづくりから

入場無料

パネラー

学校法人
JET日本語学校理事長
泉佐野市議会議員

金 美齡
千代松 大耕

コーディネーター

奈良県葛城市長
山下 和弥

4月15日(金) 18:30受付 / 19:00開始 ◆場所 / 泉の森ホール(小ホール)

千代松大耕 ローカルマニフェスト 「進化するマニフェスト」(抜粋版)

1.市民目線の市役所づくりで いちばん!

○市長・特別職の給料カット、退職金制度を廃止し、財政健全化を進めます!

厳しい財政を建て直していく上では、市民負担の前に、やらなければならないことはたくさんあります。4年間務めたら支給される市長で約2,060万円、副市長で約1,060万円、教育長で約630万円の**退職金を全廃します**。市長で**40%カット**(現在の市議会議員報酬と同程度86万円→51万6千円)、副市長、教育長の給料を**30%カット**し、先頭に立って泉佐野市の財政健全化を進めます。

○職員給料のカット、能力給制度の導入、職員数の削減をおこないます!

平成23年度の予算は単年度収支で約**13億円**悪化しています。早急な建て直しが必要です。職員給料の**1%カット**につき、**4,600万円**の歳出削減となります。職員給与を最低**20%カット**し、約**10億円**の確実な財源を確保します。あわせて期末勤勉手当等で給与に反映する能力給の導入を実施します。計画上では200人の削減となっている職員数を300人程度の削減をしていきます。

○借金を先送りせずに財政を建て直し、財政健全化計画を短縮します!

早期健全化基準の4つの指標のうち1つでも早期健全化基準を超えてしまうと「**早期健全化団体**」の適用を受けることになります。早期健全化基準を超える「**実質公債費比率**」を下げるために、**企業誘致**などによって収入を増やしていきながら、公務員改革によって生じてくる確実な財源から、借金の繰り上げ償還をしていき、市長の任期である**4年間**で「早期健全化団体」から抜け出します。

2.未来へつなげるひとづくりで いちばん!

○食育の観点から中学校給食を完全実施します!

食育の観点から中学校給食の完全実施は大切な事業であり、**学力・体力の向上**に必ずつながります。また中学校給食は、家庭における負担軽減となります。大阪府は今年度から中学校給食への補助制度を設けました。この機会を逃すと中学校給食は未来永劫おこなえなくなります。投資的コストで約**7億円～約10億円**、ランニングコストで年間約**2億円**がかかりますが、**中学校給食は必ず実施します**。

○学校施設の改善、耐震化は引き続き進めます!

行政にとって**住民の生命と財産を守ることが一番の仕事**だという観点から、財政難だからと言って学校施設の耐震化は先送りすることは許されません。泉佐野市は**平成27年度での耐震化率100%**をめざしていますが、学校施設の耐震化のための財源に関しては、泉佐野市の遊休地の売却(計画によれば約51億4千万円)によって確保しながら、学校施設の**耐震化のスピード**を速めます。

○小中学校の学力・体力レベルを全国水準まで向上します!

泉佐野市は、全国学力テストの結果から全国的にみて学力の水準がかなり低いまちであります。学力向上には、授業以外にどれだけ学習時間を持つかが大事であり、学校における学力を伸ばす取り組みを実施します。**2年後には「大阪府平均」、4年後には「全国平均」を全国学力テストで上回る**という年次目標を決め、教育委員会として全力を挙げて取り組みます。全国学力テストについても同様です。

3.地域をつなげる安心づくりで いちばん!

○医師・看護師確保による「りんくう総合医療センター」の経営安定を図ります!

泉佐野市は平成19年に市民アンケートを実施しました。アンケート結果では、施策の重要性としては最も「**医療体制の充実**」が高く、現在の医療体制には満足していないことが明らかになりました。地方独立行政法人化した「**りんくう総合医療センター**」においては、医師確保、看護師確保、収支改善などの「**目標設定**」を策定し、病院経営を安定させ、併せて患者目線の病院運営をしてまいります。

○保育サービスの拡充、乳幼児医療費助成等の子育て支援策を充実します!

平成23年度の当初予算で計上が見送られました**就学前までの乳幼児医療費助成の拡充や妊婦健診の補助制度の拡充、保育サービスの充実**については、多くの子育て家庭からの要望を以前からいただいております。私は「**地方自治体が住民サービスによって選ばれる時代**」の都市間競争で負けないためにも厳しい財政状況の中にはありますが、これらを必ず実施します。

○大規模災害に備えた地域防災体制を確立します!

行政にとって最大の重要な役割は、住民の「**生命と財産を守ること**」であります。そのために泉佐野市の防災力を高めていかなければなりません。「**地域防災計画**」を見直し、東日本大震災規模の災害を想定した上で、大規模災害時への対応を整備します。泉佐野市の「**共助**」を高めるため、**自主防災組織の結成率の向上**を図ります。そのための行政側からの啓発活動や支援体制の拡充をしていきます。

4.夢がひろがる賑わいづくりで いちばん!

○専門チームの配置による企業誘致を促進し、収入増を図ります!

安易な増収策は、例えば使用料・手数料・保険料の値上げなどですが、これらは市民負担を増やすだけです。そうではなく**企業誘致や雇用の創出**における増収増、国・府の補助金の獲得による増収策を創り出さなければなりません。企業誘致や収入増を図るための**専門チーム「まちの活性課」**を創設します。また**全国規模の会議や大会の誘致**にも、積極的に乗り出していきます。

○きめ細かな地元産業の支援、そして様々な資源を活用した観光振興を!

泉佐野市ではレンタサイクルが平成22年11月から試行的に導入されました。このことによって新たな観光コースが作れるという期待が高まります。**レンタサイクルの導入**など、多額の経費がかからない、きめ細かな観光振興策は、工夫によってこれからは打ち出していきます。またきめ細かな支援策は観光振興だけでなく、**農業、林業、漁業、商工業**など全ての**地元産業**に亘って実施します。

○郷土の伝統文化・歴史・祭りはしっかりと次世代へ!

“祭”は子どもから大人まで「ひと」のつながりを深めることができる貴重な機会です。先人から受け継いだ“**祭**”や“**伝統文化**”を次の世代にもしっかりと伝承できるように、また**地域の絆がさらに深まる**ような行政としての支援策を講じていきます。観光協会からのイベント助成は、約300万円から**約450万円**まで引き上げて、地域を元気づけるイベントや催しに対しての支援策を充実します。

連絡先

千代松 大耕事務所

〒598-0046 泉佐野市羽倉崎1-1-69 ●TEL.415-2225 ●FAX.415-1895

●ホームページ: chiyomatsu.jp ●メール: chiyoma51@hotmail.com ●発行部数累計: 834,500部

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方はご連絡ください。